

公益社団法人日本プロゴルフ協会 2020年度 事業報告書

自：2020年1月1日～至：2020年12月31日

【公益目的事業】

公1「ゴルフの正しい普及ならびにゴルフ分野のスポーツ振興及びゴルフを通じた
社会貢献を行う事業」

1. ティーチングプロ資格認定事業

ティーチングプロ資格の認定のため、A級・B級の2階級で講習会を実施。B級講習会は、新規にティーチングプロ資格の取得を希望する者のためのB級（新規）講習会に加え、既存のC級会員に対するB級（移行）講習会の2種類を実施した。

A級講習会は67名（PGA37名、JLPGA30名）が受講。PGAの受講者で講習会を修了した30名に対し、2021年1月1日付けでティーチングプロA級資格を認定する。（本年度ジュニアセミナーは実施せず）

B級（移行）講習会は6名が受講。講習会を修了した6名（内トーナメントプレーヤー5名）に対し、2021年1月1日付けでティーチングプロB級資格を認定する。

B級（新規）講習会は120名（PGA106名/内女性7名・JLPGA14名）が受講。PGAの受講者でレポート・検定に合格し講習会を修了した88名（内女性5名）に対し、入会セミナーを実施。入会セミナーの受講を経て、2021年1月1日付けでティーチングプロB級資格を認定、入会登録となる。

2021年度B級（新規）講習会のための審査は209名（PGA149名/内女性10名・JLPGA60名）が受験。選定審査（書類審査・プレ実技審査・実技審査・面接及び筆記試験）を通過した101名（PGA49名/内女性3名・JLPGA52名）が合格。2021年度B級（新規）講習会の受講資格を認めた。

2. トーナメントプレーヤー資格認定事業

トーナメントプレーヤー資格の認定のため、資格認定プロテストを実施。本年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響によりプレ予選、1次プロテストは実施せず、2次プロテストからの実施となり2次プロテストは5会場、最終プロテスト1会場の2段階で実施した。その結果、51名が合格、入会セミナーの受講を経て、2021年1月1日付けでトーナメントプレーヤー資格を認定、50名が入会登録となる。

また、一般社団法人日本ゴルフツアー機構が管轄するジャパンゴルフツアー賞金ランキングシード権取得者、また顕著な実績を持つ選手（1名・金谷拓実）については、入会セミナーの受講により、2020年12月15日付けでトーナメントプレーヤー資格を認定、入会登録となる。

3. プロゴルファーの資質向上事業

(1) ティーチングプロ研修会

会員を対象として技術研鑽と資質向上を目的に、年間を通じて全国15会場にて研修会の実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により緊急事態宣言発令後に実施予定の12会場を中止とした。

(2) ティーティングプロアワード

優れた指導理論やレッスンの新たなアイデア、顕著な活動実績を持つプロゴルファーを表彰するPGAティーティングプロアワード（以下：TCPアワード）は、2019年11月29日に実施した1次選考会（11名参加）を通過した3名による最終選考を2020年3月にゴルフフェアにて実施する予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響でゴルフフェア自体が中止になったため、ゴルフネットTVにて最終選考参加者のプレゼン動画を配信して一般投票による選考を実施し、坂本博之会員が最優秀賞を受賞した。

(3) PGA マネジメントプログラム

会員の資質向上を目的としたPGAマネジメントプログラム実施予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となった。

4. ゴルフの正しい普及のためのジュニア育成事業

(1) ジュニアゴルファー育成プロジェクト

地方自治体とタイアップし、自治体等が募集した主にゴルフ未経験の小学生に対して、ゴルフを経験させていくジュニアゴルファー育成プロジェクトは、新型コロナウイルス感染拡大の影響により縮小して、かずさカントリークラブにて実施し、54名のジュニアが参加した。

(2) キッズゴルフ体験会

当法人が主催または公認する競技において、開催コースの近隣の小学校を通じて募集した主にゴルフ未経験のジュニアに対してゴルフを体験させるキッズゴルフ体験会は、シニアツアー6試合（マルハン、コマツ、プロシニア、富士フィルム、福岡、コスモ）でイベントの実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により全て中止とした。

(3) 春休み親と子&シニアゴルフレッスン会（2020年3月実施事業）

春休み中の一定期間に、全国各地においてゴルフ練習場を利用して親子または祖父（祖母）と孫のペアでゴルフレッスン会を実施する春休み親と子&シニアゴルフレッスン会は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により縮小して、全国23会場で実施し、延べ462名が参加した。

(4) ジュニア育成地区活動への助成

地域におけるゴルフ普及と振興を目的に、地区ジュニア委員が企画、実施するジュニア育成活動に対して運営費を助成するジュニア育成地区活動においては、新型コロナウイルス感染拡大の影響により縮小となったが全国で16イベントが実施され、延べ462名が参加した。尚、助成金の総額は1,459,916円。

(5) ジュニアゴルフスクールへのプロゴルファー派遣

公益財団法人日本ゴルフ協会ならびに関連団体が全国各地で実施するジュニアスクールに対して、当法人所属のプロゴルファーを派遣する予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により全て中止とした。

(6) 日本ジュニアゴルファー育成協議会への支援

子供たちへのゴルフの普及、啓発事業、指導者養成事業などを行い、社会活動の推進及びスポーツの振興に寄与することを目的として、1999年にゴルフ関連10団体（公益財団法人日本ゴルフ協会、公益社団法人日本プロゴルフ協会、一般社団法人日本女子プロゴルフ協会、一般社団法人日本ゴルフツアー機構、一般社団法人日本ゴルフトーナメント振興協会、公益社団法人日本パブリックゴルフ協会、一般社団法人日本ゴルフ用品協会、公益社団法人全日本ゴルフ練習場連盟、一般社団法人日本ゴルフ場経営者協会、全国高等学校ゴルフ連盟）によって創設された、NPO法人日本ジュニアゴルファー育成協議会（JGC）の活動に対して以下の支援を行った。

- ① JGCが主催または協力するゴルフ体験会、ゴルフレッスン会等のジュニアイベントに対しPGA会員並びに事務職員を派遣予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により全て中止となった。
- ② 助成金として150万円を支出。

(7) PGAジュニアリーグ

13歳以下のジュニアゴルファーを対象にコミュニティの場を創出することを目的にリーグ戦形式の競技会を実施するPGAジュニアリーグは、茨城・栃木・千葉A・千葉B・神奈川・大阪・兵庫の7ディビジョン、30チームにて249名が参加した。西日本地区優勝決定戦は11月29日に開催され、兵庫ディビジョンのアマバンド&スポーツチームが優勝した。東日本地区優勝決定戦は12月19日に行われる予定であったが、参加チームに1名新型コロナウイルス陽性者（濃厚接触者2名）が発生したため（12月17日発覚）延期。東日本地区優勝決定戦及び全国決勝大会は、2021年3月までに新型コロナウイルス感染拡大状況を鑑みて実施の可否を判断することとした。

5. ゴルフ分野のスポーツ振興のための主催競技開催事業

(1) 日本プロゴルフ選手権大会及び日本プロゴルフ選手権大会予選会

第88回日本プロゴルフ選手権大会

開催日：2020年7月2日（木）～5日（日）

場 所：日光カンツリー倶楽部（栃木県）

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により本年度は開催せず来年度へ延期した。

備 考：併せて予選会を全国9会場（1次予選8会場、最終予選1会場）にて実施

(2) 第59回日本プロゴルフシニア選手権大会 住友商事・サミットカップ

開催日：2020年10月8日（木）～11日（日）

場 所：サミットゴルフクラブ（茨城県）

優勝者：中山 正芳

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により無観客での実施とした。

(3) 日本プロゴルフグランド・ゴールドシニア選手権大会ユニテックスカップ2020

開催日：2020年10月21日（水）～22日（木）

場 所：宝塚クラシックゴルフ倶楽部（兵庫県）

優勝者：ゴールドの部 初見 充宣 グランドの部 室田 淳

備 考：予選会として関東・関西グランド・ゴールドシニア選手権大会を以下の通り実施

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により当初予定（6月18日～19日）から日程を延期して開催した。

関東プロゴルフグランドシニア選手権大会

開催日：2019年9月2日（水）

場 所：箱根湖畔ゴルフコース（神奈川県）

優勝者：芹澤 信雄

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により当初予定（4月16日～17日）から日程を延期し、競技短縮して開催した。が当日濃霧のため中止とし再延期（9月2日）して開催した。

関東プロゴルフゴールドシニア選手権大会

開催日：2020年7月14日（火）

場 所：箱根湖畔ゴルフコース（神奈川県）

優勝者：福沢 孝秋

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により当初予定（4月16日～17日）から日程を延期し、競技短縮して開催した。

関西プロゴルフグランド・ゴールドシニア選手権大会

開催日：2019年7月14日（火）

場 所：広島ゴルフ倶楽部鈴が峰コース（広島県）

優勝者：ゴールドの部 西川 貴祥 グランドの部 倉本 昌弘

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により当初予定（4月21日～22日）から日程を延期し、競技短縮して開催した。

(4) 第22回日本プロゴルフ新人選手権大会 富士カントリー可児クラブカップ

開催日：2020年12月24日（木）～25日（金）

場 所：富士カントリー可児クラブ志野コース（岐阜県）

優勝者：古川 雄大

(5) PGAティーチングプロ選手権大会及びティーチングプロ選手権予選会

第9回PGAティーチングプログランドシニア選手権大会

開催日：2020年11月12日（木）～13日（金）

場 所：烏山城カントリークラブ（栃木県）

優勝者：人見 雅人

備 考：併せて予選会を5会場で実施（シニアと併催）。

第16回PGAティーチングプロシニア選手権大会

開催日：2020年10月20日（火）～21日（水）

場 所：静ヒルズカントリークラブ（茨城県）

優勝者：牛山 正則

備 考：併せて予選会を5会場で実施（グランドシニアと併催）。

第22回PGAティーチングプロ選手権大会ゴルフパートナーカップ

開催日：2020年10月6日（火）～7日（水）

場 所：飯能ゴルフクラブ（埼玉県）

優勝者：小川 厚

備 考：併せて予選会を5会場で実施。

(6) P G Aジュニアゴルフ選手権 太平洋クラブカップ

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により本年度は中止とした。

6. ゴルフを通じた社会貢献及びゴルフ普及事業

(1) P G Aフィランスロピー地区事業

地域のゴルフ普及、振興または社会貢献（チャリティ）を目的としたゴルフイベントを全国11会場で実施し、延べ525名が参加した。各地区で実施したイベントの内容により助成金額を決定し、総額2,431,092円の助成を行った。尚、本事業によるチャリティ金の総額は586,350円となった。

(2) 障害者ゴルフ大会

本大会は障害者の方にゴルフを楽しんでもらう場を提供すると共に、障害者ゴルファーの技術向上を目指し、身体障害者を対象としたゴルフ競技会を開催。新型コロナウイルス感染拡大防止策として参加人数の削減、競技方法の短縮をして11月10日（火）に若洲ゴルフリンクス（東京都）にて実施し、50名が参加した。

(3) 国際交流事業

海外で行われるシニアの国際大会に選手を派遣すると共に、海外プロゴルフ協会（P G A）との情報交換ならびに親善を図った。

本年度は以下の競技に選手の派遣を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により全て中止となった。

- ・ 全米プロゴルフシニア選手権（5月21日～24日・米国）
- ・ 全米シニアオープン（6月25日～28日・米国）
- ・ 全英シニアオープン（7月23日～26日・英国）

(4) 広報事業

ゴルフ普及のための広報事業として、以下の事業を実施。

① 公式ホームページの開設

公式ホームページに当法人の概要や活動状況、競技情報などを掲載し、広く一般に告知した。

② 公式F a c e b o o k

公式F a c e b o o kは公式ホームページと連動して当法人の概要や活動状況、競技情報などを掲載し、広く一般に告知した。

③ P G Aシニアツアー競技成績の報道機関への配信

共同通信社と提携し、共同通信社から競技成績を配信することにより、P G Aシニアツアーの成績が新聞各紙に掲載されるよう図った。

④ ゴルフフェア

一般社団法人日本ゴルフ用品協会が主催し毎年3月に開催されたジャパンゴルフフェアに当法人の特設ブースを出展し、実施事業の紹介、ゴルフレッスン会などを実施予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響によりゴルフフェア自体が中止となった。

⑤ 競技記録の管理

シニアツアー及び1999年以前のレギュラーツアーの記録を管理し、一般ならびに報道機関などからの問い合わせ等に対応を行った。

(5) 出版事業

正しいゴルフ普及のため、当法人が長年の経験と実績に基づいて作成したゴルフ指導書（PGA基本ゴルフ教本、ジュニア基本ゴルフ教本、ゴルフはじめてブック）の出版、販売を行った。

(6) ゴルフのルール及びマナーに関する研究調査事業

公益財団法人日本ゴルフ協会が主催する「合同ルール研究会」に、当法人の専門競技委員及び競技担当事務局員を派遣し、最新のルール裁定、ルールの変更点に対する解釈などについて学んだ。また本年度はルール変更となったため、より活発な意見交換を行った。「合同ルール研究会」で得られた情報は、当法人が開催する研修会ならびにティーチングプロ講習会、入会セミナーなどで実施するルール講習において周知すると共に、その情報をもとに、当法人のローカルルール（当法人が関係するすべての競技に適用）を作成して会員及び競技に参加するアマチュア選手に配布し、正しいルールの普及に努めた。

(7) ゴルフアカデミー事業

ゴルフの正しい普及ならびにゴルフ分野のスポーツ振興のため、PGAゴルフアカデミー事業を実施し、ジュニアゴルファー及び一般ゴルファーへのゴルフ技術ならびに、ルール、マナーなどの指導を実施した。更に会員を対象とする自己研鑽のための競技会や講習会等を実施し、プロゴルファーの資質向上に努めた。

【収益事業】

収1 競技関係事業

1. シニアツアー事業

主催競技以外でPGAシニアツアー競技として開催を希望する競技（スポンサー競技）を公認し主管として管理を行った。また、1年間を通したツアー制度を実施し、公式賞金ランキングを作成。更に、シード資格（優先出場資格）を持たない選手に対して、出場優先順位を与えるためのシニアツアー予選会を実施した。尚、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、一部の競技が中止となった。

本年度、シニアツアー競技として実施された試合は以下の通り。

ISPS HANDA CUP コロナに喝!!シニアトーナメント／スーパーシニア

開催日：2020年7月30日（木）～31日（金）

場 所：朝霧カントリークラブ（静岡県）

優勝者：柳沢 伸祐／スーパーシニア 福沢 孝秋

プロゴルファー誕生100周年記念

ISPS HANDA CUP コロナに喝!!シニアトーナメント／スーパーシニア

開催日：2020年8月21日（金）～23日（日）

場 所：赤城ゴルフ倶楽部（群馬県）

優勝者：鈴木 亨／スーパーシニア 初見 充宣

第7回マルハンカップ 太平洋クラブシニア

開催日：2019年9月7日（土）～8日（日）

場 所：太平洋クラブ 御殿場コース（静岡県）

優勝者：篠崎 紀夫

第30回日本シニアオープンゴルフ選手権競技
開催日：2020年9月17日（木）～20日（日）
場 所：鳴尾ゴルフ倶楽部（兵庫県）
優勝者：寺西 明

コスモヘルスカップ シニアトーナメント2020
開催日：2020年11月13日（金）～14日（土）
場 所：越生ゴルフクラブ（埼玉県）
優勝者：水巻 善典

第8回いわさき白露シニアゴルフトーナメント
開催日：2020年11月27日（金）～29日（日）
場 所：いぶすきゴルフクラブ開間コース（鹿児島県）
優勝者：溝口 英二

金秀シニア 沖縄オープンゴルフトーナメント2020
開催日：2020年12月4日（金）～5日（土）
場 所：かねひで喜瀬カントリークラブ（沖縄県）
優勝者：河村 雅之

以下、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となった競技

- ・涼仙 MORE SURPRISE CUP
- ・第21回スターツシニアゴルフトーナメント
- ・すまいーだカップシニアゴルフトーナメント
- ・ファンケルクラシック
- ・～スポーツ振興～広島シニアゴルフトーナメント
- ・コマツオープン2020
- ・第4回熊本・阿蘇シニアオープンゴルフトーナメント
- ・第8回 トラストグループカップ佐世保シニアオープンゴルフトーナメント
- ・第5回福岡シニアオープンゴルフトーナメント
- ・富士フィルムシニアチャンピオンシップ
- ・富邦仰徳シニア盃（フォーボン・ヨウトクシニアカップ）
- ・ノジマチャンピオンカップ 箱根シニアプロゴルフトーナメント

2. 各種競技事業

シニア後援競技、シニア特別協力競技、主管競技、後援競技、協力競技などの名義を貸与し、競技委員を派遣して競技の管理を行った。

本年度は以下の競技が実施された。

【シニア後援競技】

- ・未来につなげよう！ノジマチャリティトーナメント
～今、私たちはゴルフで一つになる～

優勝：寺西 明

以下、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となった競技

- ・関文グループ鴻巣シニアオープン
- ・アサヒ緑健カップ 第21回TVQシニアオープンゴルフ

【シニア特別後援競技】

- ・医療従事者応援チャリティゴルフ九州スリーツアーズ
(佐世保・熊本・福岡)プロアマゴルフ大会

優勝：鈴木 亨

【後援競技】

以下、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となった競技

- ・第37回 岐阜オープンクラシック2020
- ・北陸オープンゴルフトーナメント2020

3. 共同主催競技事業

一般社団法人日本ゴルフツアー機構（JGTO）及び一般社団法人日本女子プロゴルフ協会（LPGA）との共同主催により、Hitachi 3Tours Championship2020 を実施予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となった。

収2 その他収益事業

1. 商標関係事業

「PGA」や「PGA TOUR」などの商標を管理し、企業やゴルフ場などに商標を貸与した。

また、ソニーミュージックと提携し、プロゴルファーとの交流を中心としたサービスを展開するファンクラブを組織し、ゴルフの普及を図った。

【その他事業】

他1 会員事業他

1. 会員のための競技はグランドシニア選考会1会場は実施したが、プロテスト選考会（1会場）については、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止とし、プロテストに出場を希望する会員は全員2次プロテストからの出場とした。
2. 会報誌「PGAレポート」は1月、5月、9月の3回発行し、新規入会者へのウェア等の配付、会員証の発行、手帳の配付、ルールブックの配付、慶弔費の支給、公認ゴルフスクールの認定など、会員に対するサービスを行った。
3. 日本プロゴルフ殿堂に関する事業
プロゴルフ界の発展に貢献したプロゴルファーを表彰することを目的として設立された一般財団法人日本プロゴルフ殿堂の活動支援を行った。
4. PGAチャンピオンシップサミット
当法人の事業への協力を感謝の意を表し、協賛社、マスコミ、関連団体などを招待したパーティー等を開催予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となった。

【コンプライアンス関連】

2014年4月に内閣府より受けた勧告を踏まえ、当法人としてコンプライアンスの徹底と暴力団排除の取り組みを引き続き実施し、2016年5月に第4回目の報告書を提出した。

なお、2014年から2016年にかけて提出した4回の報告書に対して、2016年7月25日に公益認定等委員会の事務局より、「委員会において報告書が承認されたので、当法人は通常の監督状態に戻った」との連絡をいただいた。

これにより、勧告という状況は終了したが、これで全てが終わりではなく、2013年の不祥事を忘れることなく「コンプライアンスに終わりはない」との認識のもと、今後も、これまでと同様のコンプライアンス体制を維持し、暴力団排除とコンプライアンスの徹底に勤めていくこととしている。

当法人が2020年度に実施したコンプライアンスに関する主な施策は以下のとおり。

- ① 2020年12月に実施した入会セミナーにおいて、ティーチングプロならびにトーナメントプレイヤーとして入会を予定している者に対して、当協会の参与（警察OB）より暴力団排除およびコンプライアンスに関する講義を実施した。併せて、事務局より定款、倫理規程の説明の中で、パワーハラスメント、セクシャルハラスメントなどに関する注意喚起を行うとともに、改めてPGA119番についての説明を行った。
- ② 2014年5月から運用を開始したコンプライアンス相談・通報窓口「PGA119番」については、運用開始から70件の相談・通報があり、通報については必要に応じてコンプライアンス委員会で事実関係を調査の上、対応を行っている。
- ③ 会員の不祥事案について、懲罰諮問委員会で調査、審議の上、提出された答申を踏まえ、理事会において懲罰を決定することとしているが、2020年度は2件、会員に対する懲罰の案件があり、定款ならびに倫理規程、会員懲罰手続規則に則り、当該会員に対して懲戒を科した。

【経営戦略関連】

2015年2月の社員総会において発表した提言書に基づいて、経営戦略委員会においてゴルフ市場再生活活性化に向けた具体的な施策を検討し、その一つとして2016年5月よりオールインワンパッケージシステム「PGAゴルフデビュープログラム」のテストマーケティングを練習場で実施している。

また、全国の大学で行われているゴルフの授業を充実させることを目的として、当法人と大学体育連合（以下：大体連）、ゴルフ市場活性化委員会の3者によって2016年に締結した連携協定に基づき、以下の取り組みを実施している。

- ① 大体連の指導者研修会において、参加した先生方に対して、2017年に策定した大学ゴルフ授業カリキュラムならびに指導マニュアルに基づいた指導方法について講習と実習を実施（2020年は新型コロナウイルス感染拡大の影響により実施されず）。
- ② 大学でゴルフ授業を担当する先生に対して、大体連の研修会で実施した講習の短縮版の講習を実施（2020年は新型コロナウイルス感染拡大の影響により実施されず）。
- ③ 大学のゴルフ授業においてティーチングプロによる特別授業を実施（2020年は新型コロナウイルス感染拡大の影響により実施されず）。

上記の事業報告に関して、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定されている附属明細書により、その内容を補足すべき重要な事項はありませんので附属明細書は作成していません。

以上